

回復期または慢性期病床を有する病院の 入退院の状況及び連携等に係る調査

A票（回復期病床用）

B票（慢性期病床用）

令和元年7月1日

千葉県習志野健康福祉センター
千葉県市川健康福祉センター
船橋市保健所

A 票 (回復期病床用)

病院名： _____

○ 実際に入退院の調整に携わる地域医療連携室または他のスタッフにご回答願います。

以下は回復期病床のみを対象とした調査です。

担当部署		担当者	
電話番号		Eメール	

Q 1 東葛南部圏域において貴施設が主に担う機能は、次のどれに当たりますか。(複数回答可)

- 1 回復期リハビリテーション機能
- 2 主に急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた機能 (回復期リハ以外の回復期機能)

Q 2 平成31年4月～令和元年6月の3か月間に、新規入院患者の内、次の入院前の施設等からの患者数について教えてください。

◎ 3か月間の新規入院 (棟) 患者数

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1 院内の高度急性期・急性期病床から | _____人 |
| 2 他の病院・診療所の高度急性期・急性期病床から | _____人 |
| 3 自宅から | _____人 |
| 4 介護施設・福祉施設から | _____人 |
| 5 その他 (具体的に： _____) | _____人 |

Q 3 平成31年4月～令和元年6月の3か月間で、他病院から入院依頼のあった患者は概ね何人いましたか。また、そのうち断った患者は概ね何人いましたか。可能な範囲でお答えください。

入院依頼のあった患者数 _____人 (うち断った患者数 _____人)

Q 4 Q 3について、入院を断った理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 発症または手術後から貴施設入院まで2か月以上の期間を要する見込みがあったため
- 2 機能回復が困難であると判断したため
- 3 医学的管理 (酸素投与、高価な内服薬、内科疾患、リスク等) が困難であると判断したため
- 4 自宅復帰が困難であると判断したため
- 5 介護・看護度が大きく手間がかかりそうであるため
- 6 満床であったため
- 7 急性期からの転院は早期すぎる患者であると判断したため
- 8 本人・家族との調整がつかなかったため
- 9 その他 (具体的に： _____)

Q 5 今後、急性期機能を持つ病院と連携を強める必要を感じていますか。また、急性期機能を持つ

病院に期待することは何ですか。

(1) 急性期機能を持つ病院との連携強化の必要性

- 1 感じている 2 感じていない

(2) 急性期機能を持つ病院に期待すること (複数回答可)

- 1 患者が急変の時、すぐに受け入れてほしい
2 マイナス面を含めて十分な医療情報を伝達してほしい
3 地域生活連携シートを送ってほしい
4 急性期の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
5 リハビリテーションスタッフの意見が記入された紹介状がほしい
6 リハビリテーション機能を充実させてほしい
7 その他 (具体的に: _____)

Q 6 平成31年4月～令和元年6月の3か月間に、退院した患者について、次にあげる施設等へ何人退院しましたか。

◎ 3か月間の退院 (棟) 患者数

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1 院内の高度急性期・急性期病床へ (疾患の増悪等による) | _____人 |
| 2 他の病院・診療所の高度急性期、急性期病床へ (疾患の増悪等による) | _____人 |
| 3 院内の慢性期病床へ | _____人 |
| 4 他の病院・診療所の慢性期病床へ | _____人 |
| 5 自宅へ | _____人 |
| 6 介護施設・福祉施設へ | _____人 |
| 7 終了 (死亡退院等) | _____人 |
| 8 その他 (具体的に: _____) | _____人 |

Q 7 今後、地域の診療所と連携を強める必要を感じていますか。

また、診療所に期待することは何ですか。

(1) 地域の診療所と連携を強める必要性

- 1 感じている 2 感じていない

(2) 診療所に期待すること (複数回答可)

- 1 在宅支援に力を入れてほしい
2 リハビリテーションを充実させてほしい
3 患者の医療・介護情報を共有したい
4 連絡会やカンファレンスなどを定期的に持ちたい
5 バックベッドやレスパイトの相談があればしてほしい
6 その他 (具体的に: _____)

Q 8 その他病院間の連携についてご意見があればお書きください。

(_____)

A票は以上です。ご協力ありがとうございました。

B 票 (慢性期病床用)

病院名： _____

○ 実際に入退院の調整に携わる地域医療連携室または他のスタッフにご回答願います。
 以下は慢性期病床のみを対象とした調査です。

担当部署		担当者	
電話番号		Eメール	

Q 1 東葛南部圏域において貴施設は次のどれに当たりますか。

- 1 療養病床を有する
- 2 療養病床を有しない

Q 2 平成31年4月～令和元年6月の3か月間に、他病院等から入院依頼のあった患者について、次にあげる施設等からは何人受け入れられましたか。

- ◎ **3か月間の新規入院(棟)患者数** _____ **人**
- 1 院内の高度急性期・急性期病床から _____ **人**
 - 2 他の病院・診療所の高度急性期・急性期病床から _____ **人**
 - 3 院内の回復期病床から _____ **人**
 - 4 他の病院・診療所の回復期病床から _____ **人**
 - 5 院内の地域包括ケア病棟から _____ **人**
 - 6 他の病院の地域包括ケア病棟や療養病棟から _____ **人**
 - 7 自宅から _____ **人**
 - 8 介護施設・福祉施設から _____ **人**
 - 9 その他(具体的に： _____) _____ **人**

Q 3 平成31年4月～令和元年6月の3か月間で、**他病院から入院依頼のあった患者**は概ね何人いましたか。また、そのうち断った患者は概ね何人いましたか。可能な範囲でお答えください。

入院依頼のあった患者数 _____ **人** (うち断った患者数 _____ **人**)

Q 4 Q 3の他病院からの入院依頼を断った理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 医学的管理(酸素投与、高価な内服薬、内科疾患、リスク等)が困難であると判断したため
- 2 自宅復帰が困難であると判断したため
- 3 介護・看護度が高く手間がかかりそうであるため
- 4 医療区分が1のため
- 5 日常生活自立度が高いため
- 6 満床であったため
- 7 本人・家族との調整がつかなかったため
- 8 その他(具体的に： _____)

Q 5 平成31年4月～令和元年6月の3か月間で、入院患者のうち、医療区分1の患者についてお伺いします。

- (1) 医療区分1の患者はどの程度いますか。 _____ %
- (2) 医療区分1の患者の受け入れをさらに増やすことは可能ですか。
 - 1 可能
 - 2 困難
- (3) (2)で**1可能**を選んだ病院にお伺いします。可能であればあと何%(慢性期病床数に対する)受け入れ可能ですか。 _____ %

Q 6 Q 5 について、医療区分 1 の患者の退院が困難で入院を継続する理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 地域の在宅医療・介護の体制が不十分である
- 2 在宅への復帰について、ご家族の希望や介護力の観点から難しい
- 3 医療区分 1 といっても A D L 区分は高い人が多く、在宅医療・介護では対応できない
- 4 地域の介護施設や介護医療院の整備数が不十分である
- 5 受入可能な施設があっても料金が高く経済的に困難である
- 6 施設から入所を断られる
- 7 その他（具体的に： _____)

Q 7 地域医療構想では、医療機能の分化・連携を進め、療養病床の一部を将来的には慢性期機能と在宅医療が担っていくこととしており、現在、療養病棟に入院している医療区分 1 の患者の 7 割は、将来在宅医療等で対応することになっていますが、可能だと考えますか。

- 1 対応は可能である
- 2 対応は難しい

Q 8 Q 7 で「対応は難しい」とお答えいただいた病院にお伺いします。
対応が難しい理由は何ですか。（自由にご記入ください。）

(_____)

Q 9 介護保険施設（老健、特養など）や在宅で高齢者に対して救急医療が必要になった場合、その一部を療養型病院が担うことについて、どのようにお考えですか。

- 1 できる範囲で積極的に担うべきである
- 2 診療報酬制度上、積極的な受入は困難である
- 3 人員、医療設備などの理由から担うべきではない
- 4 その他（具体的に： _____)

Q 10 Q 9 で高齢者に対する救急医療について「できる範囲で積極的に担うべきである」と答えた病院にお伺いします。次のような高齢者の救急患者は受け入れることができますか。（複数回答可）

- 1 誤嚥性肺炎
- 2 腰椎圧迫骨折（保存的治療）
- 3 脱水
- 4 尿路感染症
- 5 認知症等精神疾患
- 6 人工透析
- 7 終末期を迎え介護保険施設や自宅等から搬送されてきた患者
- 8 その他（具体的に： _____)

Q11 平成31年4月～令和元年6月の3か月間の退院患者数の内、次の施設等へ退院した患者数について教えてください。

- ◎ **3か月間の退院（棟）患者数** _____人
- 1 院内の高度急性期・急性期病床へ（疾患の増悪等による） _____人
 - 2 他の病院・診療所の高度急性期、急性期病床へ（疾患の増悪等による） _____人
 - 3 他の病院の療養病棟へ _____人
 - 4 自宅へ _____人
 - 5 介護施設・福祉施設へ _____人
 - 6 終了（死亡退院等） _____人
 - 7 その他（具体的に： _____） _____人

Q12 今後、急性期機能を持つ病院と連携を強める必要を感じていますか。また、急性期機能を持つ病院に期待することは何ですか。

(1)急性期機能を持つ病院との連携強化の必要性

- 1 感じている 2 感じていない

(2)急性期機能を持つ病院に期待すること（複数回答可）

- 1 患者が急変の時、すぐに受け入れてほしい
- 2 マイナス面を含めて十分な医療情報を伝達してほしい
- 3 急性期の運動機能や日常生活動作に関する情報がほしい
- 4 リハビリテーションスタッフの意見が記入された紹介状がほしい
- 5 リハビリテーション機能を充実させてほしい
- 6 その他（具体的に： _____）

Q13 今後、地域の診療所と連携を強める必要を感じていますか。また、診療所に期待することは何ですか。

(1)地域の診療所と連携を強める必要性

- 1 感じている 2 感じていない

(2)診療所に期待すること（複数回答可）

- 1 在宅支援に力を入れてほしい
- 2 リハビリテーションを充実させてほしい
- 3 患者の医療・介護情報を共有したい
- 4 連絡会やカンファレンスなどを定期的に持ちたい
- 5 バックベッドやレスパイトの相談があればしてほしい
- 6 その他（具体的に： _____）

Q14 その他病院間の連携についてご意見があればお書きください。

[_____]

B票は以上です。ご協力ありがとうございました。